



余市町 地域おこし 協力隊制度

北海道余市町総務部企画政策課





フルコースのまち、余市。

ゆるやかな丘に連なる畑には、みずみずしい果実や野菜がたわわに実り、
眼前に広がる日本海は、豊富な海産物に恵まれた北海道屈指の漁場。
近年は数々のワイナリーもオープンし、ワインの産地として注目を集めています。
豊かな畑や海、人の思いや技が育む、フルコースの味わいが揃っています。





ちょうど良い田舎

北海道の西部、積丹半島の東の付け根に位置し、海と山に囲まれた自然豊かな人口約1万8千人の町。

POINT

札幌・ニセコから1時間以内に位置し
都市・リゾート圏とのアクセス良好。

ニッカウイスキー 蒸溜所がある町

国登録有形文化財 北海道遺産
ニッカウイスキー余市蒸溜所





北海道内でも 比較的温暖な気候のまち

みずみずしい果実や野菜がたわわに実り、
リンゴ、ブドウ、梨、桃の生産が道内トップ



日本有数のワイン用 ぶどうの産地

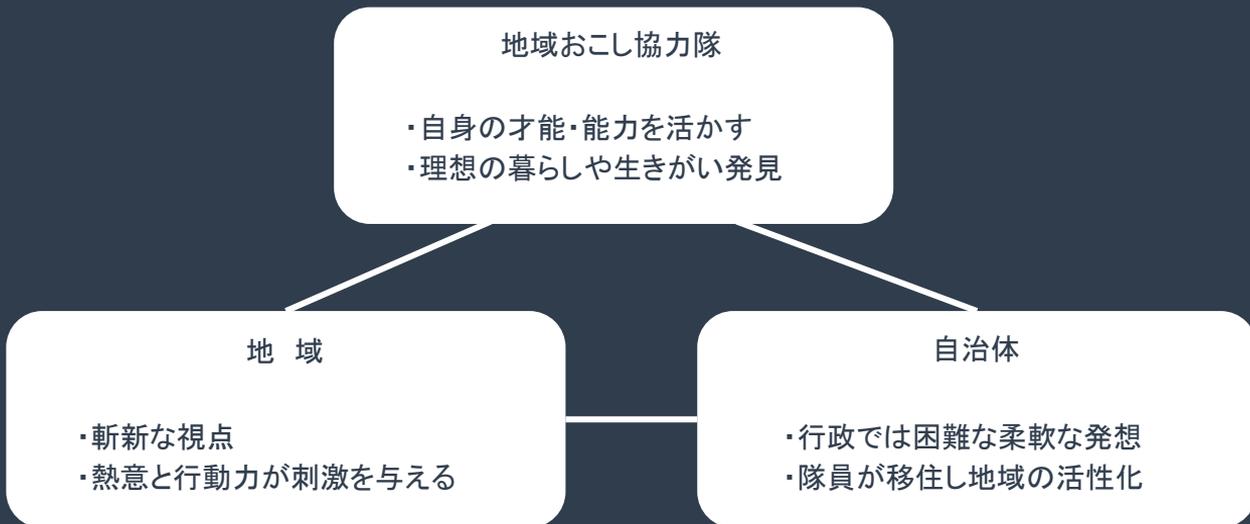
ワイン用ぶどうの生産量は国内トップクラスで、優れたワイナリーも急増



地域おこし協力隊とは

都市部から地方に移住して自らのスキルや経験を活かし地域の活性化のために多様な活動を行う人たちのこと。

制度開始：平成21年度（2009年度）



協力隊の活動条件の比較

	よくある市町村の例	余市町
採用の形態	会計年度任用職員 として雇用	活動委嘱として任用 (町との雇用関係なし)
報償金 (給料)	月額18万円～21万円	月額275,000円(最大)
活動時間	規定あり (1日8時間、週5日)	規定なし (活動日数上限のみ設定)
兼業・副業	不可	可(活動に支障ない範囲)
活動内容	隊員への業務指示	受入の分野に沿った 隊員の提案による活動

余市町の協力隊の概要



活動経費の使途

- ・イベント開催費用
- ・旅費／研修費
- ・商品開発費 etc...

※活用にあって町と事前協議が必要



活動報告・相談体制

- ・月次報告書(月報)の提出
- ・年度末に年間実績報告書の提出
- ・関係者間の連絡共有体制の整備



副業

- ・協力隊活動(本業)に支障がないこと
- ・定住に向けた内容であること

※生活費のための副業はNG



求められる隊員の姿

- ・地域資源を活用して地域活性化
- ・アイデアを具現化させる行動力
- ・地域と積極的に交流を図る
- ・余市町のブランド力向上に寄与

余市町の協力隊の待遇

報償金(給料)	23.3万円/月 スキル・経験のある方は27.5万円/月
活動助成金	最大200万円/年 ※
家賃助成	最大3万円/月(※に含む)
車両費助成	1.5万円/月(※に含む)
通信費助成	5千円/月(※に含む)
活動用品助成	5千円/月(※に含む)
起業支援	上限100万円/1度限り



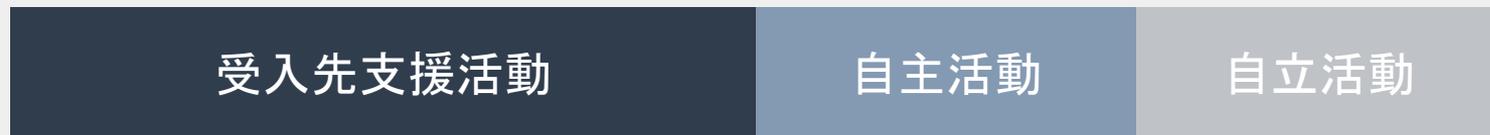
余市町の協力隊の活動

- ☑ 活動は**受入先での業務支援活動**が基本
- ☑ 年次や受入先により**活動時間のバランス**は異なる
- ☑ **将来の定住に向けた活動**を応援

1年目の活動割合(例)



3年目の活動割合(例)



余市町の協力隊の内訳

1年目	2年目	3年目
0人	4人	1人

※2022年12月現在

隊員の受け入れ先

現役隊員の5人は以下の受け入れ先で活躍しています。

- 一般社団法人 余市観光協会 2人
- 町内ワイナリー 2人
- 受け入れ先なし(町内全体を活動先指定) 1人



隊員の皆様には、自身の活動を通じて
様々な形でのメディア露出をお願いしております。

余市町地域おこし協力隊座談会 2022

5人の「地域おこし協力隊」が
余市町での1年間を語り合いました。



現在、余市町には「地域おこし協力隊」として、東京府民から移住し活躍している5人の隊員がいます。それぞれ10月1日付で1年間の任期を迎え、各地域の活性化に貢献した活動報告の場として座談会を開催しました。

座談会参加者

- 高松 松太郎 (余市町長)

座談会内容

余市町では「地域おこし協力隊」として、東京府民から移住し活躍している5人の隊員がいます。それぞれ10月1日付で1年間の任期を迎え、各地域の活性化に貢献した活動報告の場として座談会を開催しました。

座談会参加者

- 高松 松太郎 (余市町長)

座談会内容

余市町では「地域おこし協力隊」として、東京府民から移住し活躍している5人の隊員がいます。それぞれ10月1日付で1年間の任期を迎え、各地域の活性化に貢献した活動報告の場として座談会を開催しました。

ソムリエ最高峰・高松さん 余市に 地域おこし隊員に委嘱 輸出「トップ級レストランへ」

【余市町の新しい地産地消の動き】「ソムリエ最高峰」高松松太郎さんが、余市町に地域おこし協力隊員として移住し、高松さん自身が「ソムリエ最高峰」の称号を持つ。高松さんは、余市町の地産地消を推進するために、高松さん自身が「ソムリエ最高峰」の称号を持つ。高松さんは、余市町の地産地消を推進するために、高松さん自身が「ソムリエ最高峰」の称号を持つ。



高松松太郎さんは、余市町に地域おこし協力隊員として移住し、高松さん自身が「ソムリエ最高峰」の称号を持つ。高松さんは、余市町の地産地消を推進するために、高松さん自身が「ソムリエ最高峰」の称号を持つ。

札幌から高遠までおよそ1時間！余市町 地元高校生も開発！新感覚ご当地グルメがはいよいよ発売

9/7(木) 20:00配信



札幌から高遠までおよそ1時間！余市町 地元高校生も開発！新感覚ご当地グルメがはいよいよ発売

9/7(木) 20:00配信

高松さんご参加！ご当地グルメ開発

ニシンとカレー味のポトをマッチさせた新感覚のご当地グルメ「ソーラン玉」
<https://sodane.hokkaido.jp/news/202109122000001355.html>

余市町の現役隊員からの声



現役隊員の声その1

私たちが日常的にサポートしてくれる役場職員の皆さんは、こちらの問い合わせで分からない時があっても、すぐに調べて回答いただくので、**私たちが活動しやすいよう努力**してくれていると感じます！



現役隊員の声その2

知らない土地に移住するのは勇気がいることですが、余市町の協力隊制度は活動開始前から自分のやりたいことと卒業後のビジョンを、ある程度役場の担当者や受入先と共有できるので、スムーズに活動を始めることができました！



「食の都よいち」を一緒に 盛り上げませんか？

季節ごとに水揚げされる旬の水産物や加工品、果樹や野菜の農産物。
さらには全国トップレベルのワインぶどう産地で、ワインやウイスキーといった
お酒など豊富な食資源に恵まれる町「余市町」で
あなたのスキルを生かして共に地域を元気にしましょう。

お問合せ先:余市町総務部企画政策課企画グループ

電話:0135-21-2117(直通)

メール:Kikaku-s@town.yoichi.hokkaido.jp

